

印本田の字  
み脱す今三  
代實録和名  
ふ鈔に據て補

櫛田神社

櫛田は久之多と訓べし、和名鈔、櫛田、假字上櫛田の加し○祭神素盞鳴尊、奇稻田姬命、神社○櫛田村に在す、上例祭月 日、

類社

伊勢國多氣郡櫛田神社の條見合すべし

神位

三代實録、貞觀十八年七月十一日丙戌、授越中國櫛田神從五位下、

礖部神社

礖部は伊曾倍と訓べし○祭神櫛日方命、大山咋命、大己貴命、神社○礖部村に在す、上例祭

類社

伊勢國朝明郡石部神社の條見合すべし

越後國頸城郡水島礖部神社

箭代神社

箭代は夜志呂と訓べし○祭神葛城襲津彦命、神社○北八代村に在す、上例祭

草岡神社

草岡は久佐袁加と訓べし○祭神在所等詳ならず

氣多神社

氣多は假字也○祭神天活玉命、頭注○神社一宮村に在す、上例祭月 日、○當國一宮也、宮

類社

能登國能登郡氣多神社の條見合すべし

官幣

頭注云、延喜八年八月十六日乙卯、以越中氣多大神、預官幣、

雜事

朝野群載云、永曆四年六月十日、卜部兼宗、奏龜卜御體御卜云々、坐越中國、氣多神云々、

婦負郡七座 並小

婦負は瀨比と訓べし、和名鈔、部名婦負、假字上式廿二、民部拾芥抄、國郡婦負、○萬葉集十七卷に、天平廿年、婦負郡見、潛鷗人、作歌一首、賣比河波能、云々、今按るに、此歌によれば、瀨比と稱るにや、また歌は詠れるにや、

姉倉比賣神社

姉倉は阿彌久良と訓べし、比賣は假字也、○祭神明か也○舟倉村に在す、今新川郡に屬す、上同例祭

速星神社

速星は波夜保志と訓べし○祭神在所等詳ならず

白鳥神社